

第5回  
沖縄21世紀ビジョン

こどもの医療費の助成制度が  
窓口無料化(現物給付)に変わります!

県では、平成30年10月から小学校入学前までのこどもの医療費(保険診療に限る)の無料化を図ります。医療機関窓口で現物給付の受給者証(市町村発行)の提示により、原則医療費を支払うことなく医療サービスを受けることができます。

※市町村により、実施時期、対象年齢などが異なる場合があります。  
※現物給付に対応していない医療機関がある場合は、これまでどおりの方法により助成を受けることになります。

現行	対象児童	給付方法	一部自己負担金	見直し後	対象児童	給付方法	一部自己負担金
通院	小学校入学前まで	自動償還(窓口支払後後日振込み)	3歳以上1医療機関につき1,000円/月	通院	小学校入学前まで	現物給付	なし
入院	中学卒業まで		なし	入院	中学卒業まで	小学校入学前まで現物給付以降中学卒業まで自動償還	

ご注意! 以下の内容は助成の対象外となります。

健康診断や予防接種など

保険適用外の費用(健診、予防接種、診断書料、薬の容器代、おむつ代など)は対象外です。

一定の病床数を有する病院における初診料や特別な病室の利用にかかる費用など

入院時の食事療養費

病気やケガで入院したときにかかる食事療養費は、従来通りの自己負担になります。  
※食事療養費は各自治体によっては対象となる場合があります。

その他注意点

転出後は受給者証を返納

お住まいの住所と受給資格者証の住所が違う場合は、受給資格者証は使えません。使えた場合でも、後日、転出元の市町村から医療費の返還が求められることになります。

入院には限度額適用認定証が必要

高額な医療費が見込まれる入院時には、高額療養費限度額認定証の手続きも忘れずにお願いします。(確認できない場合は、従来どおり医療機関窓口での支払後、後日助成されることになります。)  
※認定証の発行は保険証の発行機関にご相談ください。

その他公費医療制度も活用しましょう

未熟児の養育医療や小児慢性特定疾病医療助成など、国の公費医療制度が活用できる場合があります。詳しくは各市町村窓口でご確認ください。

学校、保育園等だけがをした場合

学校、保育園等だけがをした場合、子ども医療費助成制度ではなく、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度が優先され、保護者に対して給付金(災害共済給付)が支払われます。手続きについては学校、保育園等にお問い合わせください。

休日・夜間の急なこどもの病気に

小児救急電話相談 #8000

休日・夜間の急なこどもの病気にどう対処するか迷った時に、看護師・医師から適切な対処方法をアドバイスします。

ダイヤル回線、#8000をご利用いただけない地域からおかけの場合は、  
電話: 098-888-5230

こどもが急な病気やけがをした際は

子ども救急ハンドブック

こどもの急病で不安な時に「すぐに救急医療機関を受診すべきか」、「家庭で様子を見て大丈夫か」など、判断の参考となるハンドブックです。

PDFのダウンロードはこちらから▶



問い合わせ

◆子ども医療費の窓口無料化については  
保健医療総務課  
電話: 098-866-2169

◆小児救急電話相談・子ども救急ハンドブック  
については医療政策課  
電話: 098-866-2111

広告



「結核」は昔の病気ではありません!

結核ってどんな病気なの?

結核とは、結核菌が原因で起こる病気です。結核菌を含んだしぶきが「咳」や「くしゃみ」と一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことで感染します(空気感染)。もし感染しても多くの健康な人は結核を発症しません。これは、体内にある免疫が働いて結核菌を抑え込むからです。しかし、免疫が弱い赤ちゃん、体力が低下している妊婦や高齢者は結核を発症しやすいので注意が必要です。また、発症しても早めに治療すれば治る病気ですが、放置すると周囲に感染を広げてしまいます。

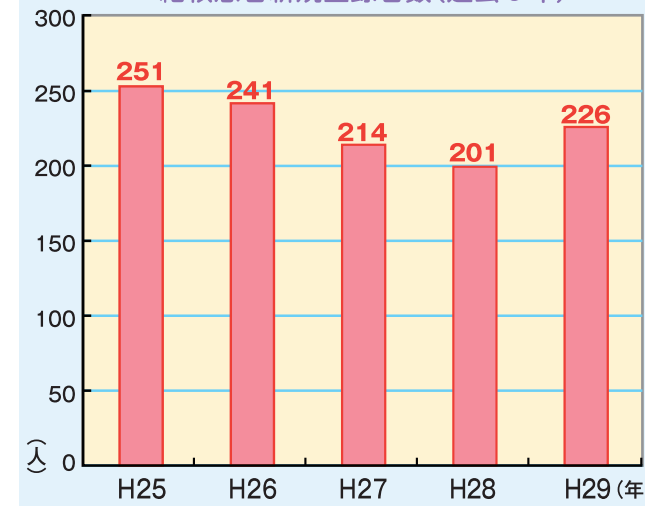


結核と闘う「シールぼうや」

沖縄県はどんな状況なの?

結核は昔の病気というイメージがあるかもしれませんが、決してそんなことはありません。近年、患者数は減少傾向でしたが、昨年(平成29年1月~12月)は226人が新たに結核患者として登録され、5年ぶりの増加となっています。そのうち、60歳以上の人が占める割合は約70%です。高齢者の方が多いのは確かですが、最近では若い方の占める割合も増えてきています。若い患者のうち半数以上は外国生まれの方です。

結核患者新規登録者数(過去5年)



咳、たん、熱が長引く場合は要注意!

結核にかかると熱が出て、咳やたんが続きます。また、全身がだるくなり、食欲がなくなるため痩せていきます。そのまま放って置くと結核菌が肺などに穴を開け、最悪の場合死に至ります。そうならない為にも早めの治療が大切です。結核は決められた数種類の薬を6~9ヶ月間かかさず飲むことで治すことができます。

咳が2週間以上続く、たん、熱(微熱)、体重減少が続く場合は、早めに医療機関を受診してください。



こんな症状が現れたら、  
早めに医療機関を受診してください。

9月24日~30日は結核予防週間です

沖縄県では、保健所を中心に市町村や各関係機関等と連携し、各地域でパネル展や街頭キャンペーンなど、様々な取り組みを行います。この機会に是非ご覧いただき、早期発見・早期治療のため結核に対する理解を深めていただきますようお願いいたします。



パネル展

問い合わせ

地域保健課 電話: 098-866-2215 FAX: 098-866-2241



9月18日はしまくとぅばの日。  
広げよう!しまくとぅば県民運動



9月18日はしまくとぅばの日。  
広げよう!しまくとぅば県民運動